

令和5年度 すずか幼稚園・第2すずかきしおか幼稚園 学校関係者評価書

	評価項目	本年度の重点的活動計画	達成状況および成果と課題	(学校関係者評価)	今後の改善点
管理運営	組織運営	<p>①運営計画および教育計画を明確にするため、研究保育、行事計画の作成時に、園や学年の教育目標との関係性を明示する。</p> <p>②本年度の行動計画を各教員が自己チェックし、学年で話し合うことにより徹底できるようにする。</p> <p>③自己目標設定票を継続し、記述についての研修を進める。</p> <p>④全保護者を対象とした保護者アンケートに継続して取り組む。</p>	<p>①園行事等の企画立案や研究保育の計画作成時に、園や学年の教育目標との関連を示すように位置づけることができた。</p> <p>②行動計画の自己チェックを毎月行う際に、学年で話し合いそれを簡潔にまとめることができた。学年で話し合うことができたのは良かったと思う。</p> <p>③自己目標設定票の記述に関して年度当初に研修する機会を持つことができた。</p> <p>④前年度に引き続き保護者アンケートに取り組むことができた。アンケート項目に関して重複するような間があるなど課題はあるが、経年変化を見るため3年間は同じ項目を使いたい。そのため、次年度も同じアンケートとしたい。</p>	<p>①活動の目的を明確にすることは大変重要なことだと思います。</p> <p>①運営計画、教育計画を明確にすることで、目標との関連性が示せたということは良いことだと思います。</p> <p>①保育環境が目まぐるしく変化中、保育経験の差がある職員の方々がともに同じ方向を目指すのは困難を極めると思われます。園長はじめベテランの先生方の目配りに大変感謝しています。</p> <p>①園行事の企画立案を計画作成時に教育目標との関連を明確にされたのは良いと思う。</p> <p>②行動計画を自己チェックし、学年で話し合い、簡潔にまとめることができたのは良いことだと思います。</p> <p>②”簡潔”効果があり良かったです。</p> <p>②ベテランの見識を経験の少ない教員が学ぶ貴重な機会である。</p> <p>②学年で話し合いができることはとても良い点だと思います。話し合いを行うことで学年全体にまとまりが生まれ、教員そして幼稚園のイメージも向上するかと思います。</p> <p>②各教員が自己チェックで各々の行動計画を立てて活動されていて、毎月学年で話し合い問題点を共有されていることは良いと思う。</p> <p>③ゆっくりで構いませんので、自己のPDCAを視野に入れたテコ入れも必要かと思えます。</p> <p>③自己目標設定について、皆さん真摯に取り組んでいる様子が見受けられます。</p> <p>③自己目標設定票に対して研修ができたということは良いことだと思います。</p> <p>③自己目標設定票について、項目別にわかりやすくだらうでしょうか。(目標1に対して、具体的な手立て1、達成度1のように)</p> <p>③先生方が高い目標を持って日々取り組んでくださっているのがよく分かります。先生方がいろんな意見を出しやすい組織であることは大切だと思います。</p> <p>③こちらの研修は、全教員が受けていたのでしょうか?具体的な研修内容の記載がないのでよくわかりません。→教員全員が、自己目標設定票の記述方法について研修した。</p> <p>④アンケートについては、保護者が園についてどのように思っているのか聞ける一つの手段なので続けてほしいと思います。</p> <p>④「保護者アンケート記述欄」の回答が適切。園の方針を理解してもらうことにもなると思います。</p> <p>④保護者へのアンケートについては、今後も継続して取り組んでもらいたいです。</p> <p>④保護者アンケートについては、一生懸命情報の発信をされているようですが、他に比べて評価が低いようです。何か他によい方法を考えてみてはいかがでしょうか。</p> <p>④アンケートの分析結果や成果は、組織運営の改善に活かされているのか。園でのこどもの様子をもっと伝えて欲しい等、保護者とのコミュニケーションに関する意見については、ICTの活用など検討が必要だと思います。</p> <p>④保護者の入れ替わりもあり重複する項目であっても継続することが大事だと思いますので、今後も続けるとよいのかなと思います。</p> <p>アンケート結果に関しては、おおむね肯定的な意見で、園に対しての満足度も高いと思いました。3年間は同じアンケートにされるなら、前年度との比較があった方がよりわかりやすいと考えます。→次年度は、学校関係者評価委員会には提示したいと思います。</p> <p>その他、多様性の広がりや環境の変化などに対して、新しい対応や取り組みが増えています。加えて、様々なコストの増加もあります。それらに対して、業務の効率化は必須だと思いますが、組織運営として検討されていることはありますでしょうか?</p> <p>④保護者アンケートについて、同じアンケートで経年変化をモニタリングする件につきましては結果を楽しみにしています。集計報を確認しましたが、園児はとても楽しく充実した幼稚園生活を送っているのが感じられます。一部そうでない子たちも見受けられるそうですが、時間はかかるとは思いますが原因を見つけ、改善してほしいと思います。</p>	<p style="text-align: center;">今後の改善点</p> <p>①職員に園や学年の教育目標を意識する素地はできてきているので、日々の教育活動や行事においても意識できるように、振り返りの段階で目標を達成できているか等を考えることにより意識できるように取り組みたい。</p> <p>②行動計画の自己チェックと学年での話し合いは位置づいてきた。また、自己チェック表を全員で話し合うことも位置づいた。今後も続けていけるようにしたい。</p> <p>③自己目標設定票への記入に際し、簡潔書きに項目ごとに分けて記述するように指導していきたい。</p> <p>④保護者アンケートは本年度で3年目になるので、内容について振り返りを行い、次年度に向けて改善していきたい。</p> <p>⑤満3歳児学級(年少クラス)が第2すずか幼稚園に続きすずか幼稚園でも開設されるので、それに向けた組織運営を考えていきたい。</p> <p>⑥次年度は新規採用教員が6名となっている。若年層の教員を指導できる立場の教員を配置していきたい。</p>

<p>安全管理</p>	<p>①手洗い、消毒の指導を継続するとともに、新しい生活用方を提案していく。 ②各種の避難訓練を積極的に行う。 ③熱中症への対応に関するマニュアルを策定する。</p>	<p>①手洗いや消毒などの感染症対策は継続しつつも、世情に合わせてマスク着用義務を外すなど生活様式の変更を図った。 ②地震・火災などの避難訓練を継続実施するとともに、園内への不審者侵入に対する防犯訓練を実施することができた。地震に対する避難訓練では、教員の引率でなく園児たち自身による避難についても取り入れることができた。 ③熱中症対策マニュアルを策定することができた。(5月策定) ④園内プールの再開に合わせ、プール活動緊急対応マニュアルを見直し、改定することができた。(5月改定) ⑤給食に関する食中毒対応マニュアルの策定が必要と考える。</p>	<p>①コロナ禍もようやく過ぎ、今年はインフルエンザ等も流行りましたが、その時々に応じて対応してほしいと思います。 ①感染対策は、コロナが5類へ移行しても、感染者が出ると園の行事にも影響があるので、引き続き継続してほしいと思います。 ①世情に合わせてのマスク着用を義務としないことへ変更されていてよいと思う。手洗いや消毒などは引き続き続けてほしいです。 ②地域にある高齢者施設との交流の在り方ですが、コロナ禍も過ぎ落ち着いてきた中で少しずつでも高齢者と触れ合う機会ができればよいなと思います。 ②今年も年明け早々、北陸の地震がありましたが、この地方もいつ災害が発生するかわかりませんが、日頃よりこういった避難訓練を園内で実施していただくと助かりますので、今後も継続してください。 ②「べるぎっず」でも避難訓練の様子を読ませていただきました。かなりハードルが高かったようですが、地震はいつ発生するかわからないので、これからもいろいろな条件設定で訓練を行ってください。 ②年始めに発生した能登地方の地震の時、親戚の小学生の子がとっさに机の下に潜り込む姿を目の当たりにし、日々の訓練の重要さを強く感じました。 ②園児たち自身による避難の取入れは素晴らしいことだと思う。自分の命を守るための行動の習慣化は、幼児期から必要な学習なので、今後も継続していただきたいです。 ②不審者侵入に対する防犯訓練は、教員のみで行っているのですか？園児も参加して行うとさらに安全への意識が高まるかと思えます。→園児も参加しています。 ②災害時に備えての避難訓練は、万が一の時のためにとっても重要な項目だと考えます。園児たち自身による避難も訓練されているのは良いと思います。また、不審者に対する防犯訓練もされていることも安心できる。 ③熱中症対策マニュアル等、様々なマニュアルがあることで、若手の職員さんたちが対応できれば良いことだと思います。 ③最近の天候の変化が激しいため、普段から危機管理をしっかりと持っていることが確認できました。 ③重要なこと。熱中症の時期までに全職員がこのマニュアルを十分に理解し、必要な見直しを行うことが大切。 ③危機管理について、先生が直接園の上層部に意見や情報を話す機会はあるのでしょうか。現場の小さい情報が大きな事故を防ぐ場合があります。 ③④⑤十分に考えて作られたマニュアルだと思います。食中毒のマニュアルも作るべきだと思います。 ④⑤トラブルシューティングの体系化も同様に重要かと思えます。 ⑤アレルギー対策も必要かもしれない。 ⑤給食の調理について(初歩的な質問で申し訳ありません) ・どこで調理をしているのか。→一ずか幼稚園に隣接する給食専門施設にて調理している。 ・どなたが検食してみえるのか。→検食そのものは園長であるが、全教員で毎日チェック話し合っている。 ・異常気象で気温の変化が激しく衛生管理が難しいので、卵の利用など今一度献立に目を通していただきたい。 ③④⑤策定されたマニュアルは必ず全教員で徹底していただきたいと思えます。 環境の変化は大きいので、園だけでの対応には限界があると思います。その点から、産業医、保健所、消防署など外部リソースとの連携の検討が必要かと思いました。 近年は、バスの事故の話題が多くなっていると思います。その点についての項目も必要かと思いました。</p>	<p>①手洗いや消毒は位置づいてきているので、今後も引き続き取り組みを進めていきたい。 ②今後もいろいろな条件設定をして上での避難訓練を計画するとともに、本年度取り組んだ「園児自身による避難」を進めていきたい。 ③近年増加傾向にある食中毒に関し、「給食に関する食中毒対応マニュアル」を策定したい。 ④平成27年度に策定した「アレルギー対応マニュアル」を見直したい。 ⑤令和3年度に策定した「通園バス運行マニュアル」を見直したい。 ⑥何か問題が発生した時は、職員で共有するとともにその原因を特定し、適切な解決策を見つけ再発防止につなげていきたい。</p>
-------------	---	---	---	--

<p>家庭、地域等との連携</p>	<p>①園行事等の運営に関し保護者のボランティアを要請し家庭との連携を図る。 ②地域にある高齢者施設との交流の在り方について模索する。 ③園から家庭への各種通信を充実させる。 ④園の行事に関して、報道機関への情報提供を推進する。 ⑤子育て支援倶楽部「ボーディ」や「ラッコルーム」「ひよこひろば」の充実を図る。</p>	<p>①学習発表会において保護者のボランティアを募り、数名の応募を得た。父母の会の役員だけでなく、他の保護者も園を応援しようという気持ちを持ってきてくれているように感じる。 ②年長組において、手遊びや合唱などをビデオ撮影し高齢者施設に渡すことによって、触れ合うことはできないが交流する機会の一つにできたと考える。 ③園だよりなどの連絡系の通信はもとより、子どもの様子を記事にした情報紙へきつずも計画的に発行することができた。 ④実際に報道される回数は少なかったが、情報提供は計画的に進めることができた。 ⑤子育て支援倶楽部「ボーディ」は、すずか幼稚園だけを会場にしていた講座があったが、第2幼稚園も会場として開催し第2幼稚園の保護者も参加しやすいように計画し実施できたが、参加者数の増加に反映することはできなかった。 ⑥「ラッコルーム」や「ひよこひろば」は計画的に開催することができた。</p>	<p>①保護者が教育の場にかかわることは、園運営の助けにもなるし、保護者が園の教育を理解することにもなりとても大切な取り組みと思う。 ①保護者のボランティアもさることながら、地域の総代さんとか園児の同居の祖父母など広く外にも応援を求め、子どもたちが外遊びをするときなどに参加してもらってはどうか。 ①ボランティアの活性化は、園と保護者とのコミュニケーション、相互理解の点からも重要な取り組みだと思います。双方にとって良いボランティアの対象となる事業を整理できればと思いました。 ①学習発表会の保護者のボランティアの要請については非常に良いことだと思います。今後は他の行事でもボランティアの要請をした方が良いと思います。 ①保護者への働きかけや役員業務の負担感軽減は、今後も進めていってほしい。 ①園行事にボランティアとして保護者も参加してくれると、先生方や園とのつながりは大きくなります。引き続き要請を続けてください。 ①保護者ボランティアは、私が父母の会の会長を務めていた時に本当に助けていただいた記憶があります。父母の会の負担軽減や保護者も一緒に園のために活動できるので、今後も継続していただきたいです。 ①実際にボランティアに参加していただいたのは、役員、学級委員の家族がほとんどだと思います。もっと他の保護者も参加しやすいように、早めにアナウンスするなど、もう少し募集に工夫されるとよいのではないのでしょうか。 ②一年中コロナやインフルエンザが流行しているの、高齢者施設に訪問することはまだまだできませんが、ビデオで子どもたちの元気を届けられてよかったです。これからも継続してください。 ②高齢者施設の活動として、布巾などを簡単な手作りのモノを製作していただき、子供たちが御礼に訪問するような双方向の活動も良いかと思いました。 ②高齢者施設への交流も直接触れ合うことはできない中で、ビデオ撮影をし交流を中止しないところ、良い点だと思います。 ②実際に施設への訪問は難しい中で、ビデオ動画での交流というアイデアは良かったと思います。 ③「べるきつず」園児の様子がよく分かるが、すずか幼と第2すずか幼が同じ通信に記載されていて少し読みづらい。可能ならば、それぞれの通信にされてはいいか。あるいは、「すずか幼」「第2すずかきしおか幼」のコーナーに分けるなど、紙面を工夫してはどうか。 ③「べるきつず」は園の情報、子どもたちの様子、子育てのヒントがたくさん詰め込まれた情報紙。とても素晴らしいです。 ③園だよりは保護者の方でなかなか園に来ることができない保護者の方々にはとても良いことだと思いますので、今後も続けて発行してほしいです。 ③園だよりなど紙ベースで定期的に発信されていて、それはそれでわかりやすくよいと思います。それとは別で、もっと日常の様子についてもコドモンやホームページなどで発信してもらってもいいかなと思います。(すずか幼稚園に比べると第2すずか幼稚園は、ホームページでの写真投稿も少なく感じます。) ③④情報提供の対象となる方の主な媒体(紙、HP、SNSなど)について把握し、情報発信の手段について検討が必要かと思いました。 ④園行事についての報道機関への情報提供は、回数を増やせるなら増やしてほしいです。 ④最近、新聞を取っている家庭が少なくなっているの、情報提供をする手段を何かほかに変えることは可能でしょうか？ ④保護者アンケートにて、ニーズ調査をしても良いかと思いました。 ⑤子育て支援倶楽部「ボーディ」は第2幼稚園としても開催日を増やし保護者が参加しやすいようにしてほしいですが、無理のない計画で開催できると幸いです。 ⑤効果反映には時間が必要かと思いますが、実施に踏み出せたことは評価すべきと思います。 ⑤第2すずか幼稚園でもボーディ開催されてよかったです。ラッコルームやひよこひろばも引き続き開催してほしいです。</p>	<p>①園行事に対して保護者にボランティア活動を依頼することは位置づいてきており、その効果も出ていると感じる。秋の遠足の際に園児の祖父母も含めたボランティアを要請してみたい。 ②地域の高齢者施設との交流に関しては、本年度と同様のDVD等を活用した交流を進めていきたい。 ③保護者への紙ベースでの情報発信は進められているので、ホームページを活用した情報発信を考えていきたい。 ④報道機関への情報提供は、今後も進めていきたい。 ⑤子育て支援倶楽部「ボーディ」の講座内容について、これまで取り組んでいた「寄せ植え教室」が業者さんの業務内容変更により継続できなくなった。新しい講座の開拓を進めたい。</p>
-------------------	--	---	---	---

教育活動	教育課程と幼児理解・援助	<p>①「人とのかかわり」を主軸に置いた公開保育および事後検討会を実施する。</p> <p>②主体的活動と学級活動との関連性を意識した環境・教材研究を実施する。</p> <p>③鈴鹿市の進める集団適応診断を活用し、特別な支援を要する園児への適切な支援に取り組む。</p>	<p>①各担任が「人間関係」を主眼に置いた研究保育を行い、報告書を作成することができた。しかし、事後検討会は時間の確保が困難であった。</p> <p>②それぞれの学級で、自由遊びの際に廃材などをを用いた遊びを取り入れることにより、主体的な活動に発展させることができる環境が整いつつあると感ずる。</p> <p>③集団適応診断により、支援を必要とする園児の保護者と園、子ども家庭支援課との話し合いが進められる機会となっている。ただ、子どもの現状を受け入れることができない保護者もいるため、今後の課題と考える。</p>	<p>①忙しい中、研究保育ご苦労様でした。日常のOJTも大切ですが、あわせてこうした研究保育を行うことも、レベルアップに欠かせないと思います。ぜひ、年1回でもよいので、こうした取り組みを継続してください。(研究保育でも普段でもよいので、評価委員も(希望者)に)保育を参観する機会をセッティングしてください)</p> <p>①人間社会において人間関係が一番難しい課題ではありますが、研究保育を行い報告書を作成できたことはとても良いことだと思います。</p> <p>①重要な活動だと思います。一方で、課題にあげられているように、時間の確保について何か改善策はあるのでしょうか？</p> <p>①人とのかかわりについての人間関係はとても大事なことなので、各担任教員が意識を持ち報告書を作成されていたことは良いことと思う。ただ、振り返り反省点は何かという事後検討会も大切なことなので、しっかり時間を取れなかったのは残念だと思います。</p> <p>②子どもたちが主体的に活動できるような環境づくりができればよいことだと思います。</p> <p>②教員・園児問わず”主体性”はもっとも重要なテーマだと感じます。引き続きの推進をお願いします。</p> <p>②SDGsの観点から、廃材の遊びは大切だと感じます。</p> <p>②廃材での遊びは創造力、想像力、探求心がとても伸びる遊びだと思うので、さらに環境を整えてほしいと思います。</p> <p>②廃材の活用は、SDGsの視点からもよい活動だと思います。</p> <p>③非常にデリケートな問題だと思いますので、慎重に進めてほしいと思います。</p> <p>③集団適応診断の判定は大変難しいところがあり、出た結果に対して時としては親の不安をあおることにもなります。</p> <p>③子どもの能力の発達は著しいものがあり、その後の対応が確立されていないところがあります。市教委とのさらなる連携が求められ、共通理解に向けて努力していただきますようにお願いします。市内でも放課後デイサービスがたくさんあり、療育プログラムのしっかりとしたところを探してほしい。(子どもの笑顔が基準になると思います)</p> <p>③子どもの現状を受け入れることができない保護者への支援や働きかけは、どんなものなのか、今後も重要な課題だと思います。</p> <p>③集団適応診断で支援を必要とする園児に早いうちに気づき、「どのような支援が必要なのか?」「幼稚園での支援が小学校でもできるのか?」など、小学校や保護者、子ども家庭支援課で情報を共有していただき、スムーズに就学できるよう取り組みをお願いします。</p> <p>③支援を必要とする園児のためには、集団適応診断は早い時期に支援対応ができるという点でいい機会になっていると思います。ただ、受け入れがたいという保護者の気持ちも理解できるので、どのようにフォローしていくかがとても重要だと思います。</p>	<p>①次年度は新採用教員が6名となっており、近年、若年層の教員が増えてきている。こうした中で研究保育に関しても本年と同様に進めていきたい。</p> <p>②教室の中に廃材を使った遊具を取り入れているクラスが増えてきている。今後も廃材を利用した遊具の公開を進めていきたい。</p> <p>③鈴鹿市の進める集団適応診断も位置づいてきた。診断結果にとらわれず、子どもの困り感に注目していきたい。就学に際しては小学校との連携を取ってきたい。</p> <p>④本園の運営及び教育活動におけるSDGsの取り組みをまとめていきたい。</p>
研修	教員の資質向上	<p>①研究保育の充実を図るため、指導案作成について研修を進める。</p> <p>②幼児理解に関する園内研修を積極的に行う。</p> <p>③一日の子どものエピソードを出し合い、それを基に互いが学び合う研修体制を確立する。</p> <p>④園外での研修の機会を積極的に活用していく。</p>	<p>①指導案の「ねらい」の部分において、本時のねらいが教育目標等のどの部分とかわっているのかを示すことにより、自分の保育が教育目標とつながっていることを明確し、意識できるようにした。今後も続けていき、その効果を見ていきたい。</p> <p>②毎月の職員会議後に園内研修の時間を取り、幼児理解に関する研修を行うことができた。</p> <p>③子どもの様子を毎日記録するとともに教員内で話し合う機会を設けた。</p> <p>④東海北陸研究大会に10名で参加することができた。還流報告会を10月に実施した。</p>	<p>組織運営①と同様に目的と目標のリンクは必須だと思います。</p> <p>①指導案の「ねらい」の部分明確になることで、職員さんたちの目標への意識が向上できるとよいと思いますので、引き続き続けてください。</p> <p>②園内研修で幼児理解に関する研修を今後も続けることで、学び合う研修体制を確立してください。</p> <p>②④指導経験の長い先生方と3年未満の先生方のスキルの差を埋めていただくのは努力のいることと思われま。また、保護者の要求値も年々変化があり対応に苦慮の連続でしょう。園長はじめ主幹兼指導教諭の先生方の指導力に期待しております。</p> <p>③活動スキルの均一化には必要不可欠だと思います。</p> <p>③子どもの毎日の様子を記録する時間短縮のためのソフトなど工夫していることなどあれば教えていただきますように。</p> <p>③大変だと思いますが、ぜひ続けてください。</p> <p>③子どもの様子を毎日記録し話し合うということは素晴らしいと思います。話し合うことから職場での人間関係も築かれるのだと思います。</p> <p>④とても良い取り組み。参加人数も多くて効果が期待できると思う。</p> <p>④これからも園外の研修に参加し、資質向上につなげてください。</p> <p>④園外研修も非常に良いことだと思いますので、今後も積極的な活動をお願いします。</p> <p>④それぞれに対する研修や話し合い、その成果を発揮できる大会に10名で参加できたことは素晴らしいことだと思います。今後も教員に負担をかけない程度に研修を行っていただきたいです。</p> <p>積極的に良い活動が行われていると思います。</p> <p>教員それぞれに個性があり、また経験や対応に差があるのは仕方がない点ですが、一方で、安全管理やリスクマネジメントにおいては、全ての教員が一定の基準を満たしている必要があります。そのような観点も必要かと思いました。</p> <p>研修の時間が取れるようになったことは本当に良いと思います。先生方も大変かと思いますが、子どもたちのため今後も継続をお願いしたいです。</p> <p>教員の向上に向けて毎月園内研修をされていたり、園外の研修にも参加されていてとても良いと思います。特に園外研修で他の園の様子ややり方を知る機会があるのは、教員の視野を広げることにつながるので、今後も積極的に参加して行ってほしいと思います。</p>	<p>①次年度は新規採用教員が6名となるため、若年層の教員を指導できる立場の教員を配置していきたい。</p> <p>②幼児理解に関しては、園内研修においてこれまでのようにDVD等を使った研修を進めていきたい。</p> <p>③一日の子どもの様子を学年間で情報共有する話し合いを今後も進めていきたい。</p> <p>④東海北陸大会のような園外研修の還流報告は、教員のレベルアップにもつながるので、今後とも進めていきたい。</p>